

平成19年度 事務事業評価表						
(様式1)						
記入年月日	平成19年3月30日		記入者		連絡先	042-684-3211
平成18年度部名	経済部		課名	相模湖経済環境課	課長名	長谷川亮司
平成19年度部名	経済部		課名	相模湖経済環境課	課長名	長谷川亮司
事務事業名	市有林施業管理事業					
予算上の事務事業名	市有林施業管理事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	21110		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして					
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくれます					
基本施策名	第1節 地球環境の保全に向けた取り組み					
施策名	第1施策 総合的な環境施策の推進					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
かながわ水源環境保全・再生施策大綱						
3 個別計画の概要				概要		
計画名	水源環境保全・再生に係る市町村事業計画			県の「かながわ水源環境保全・再生実行5ヵ年計画」に位置づけ市有林の整備を推進する。		
計画年次	19	年度～	23	年度		
4 事業形態の区分	維持・管理・補修			5 事業開始年度	平成18年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
水源地域の森林の健全化のため市有林の整備を行う。					市有林	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
1.02haの枝打(1.8mから4mまで)及び20%の間伐を実施						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 [単位:千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	494	4,001	6,728	
一般財源	0	0	118	788	788	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	376	3,213	5,940	
人件費の合計	0	0	1,320	2,310	2,640	
事業コスト合計	0	0	1,814	6,311	9,368	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	市有林施業管理委託			対象名称 と単位	委託費(千円)/施業 面積(ha)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	494	4,001	6,728	
対象数	0	0	1.0	3.4	5.9	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	484,314	1,190,774	1,132,660	
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	2.46	0.95	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	市有林施業管理（枝打・間伐等）ha	指標式と指標の説明	5年計画を策定し水源税を利用し計画的に整備を実施する。		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	1.0		
目標	0.0	0.0	1.0	3.4	5.9
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	市有林施業管理（枝打・間伐等）ha	指標式と指標の説明	5年計画を策定し水源税を利用し計画的に整備を実施する。		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	1.0		
目標	0.0	0.0	1.0	3.4	5.9
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
C	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		19年度より地域水源整備事業補助金が導入されるため5年計画を提出し整備を推進する。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
市の施策にのっとり24年度からの計画を策定していく。			所在地の確認が必要な場所がある。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			